

真野小保健だより

大津市立真野小学校保健室
2022(令和4)年4月28日

保護者様へ

令和4年度が始まって1か月が過ぎようとしています。もうすぐゴールデンウィークですが、緊張の続いた毎日から少しほっこりできる時間になればいいなと思います。

さて、現在、学校における定期健康診断を実施しております。もうすでに、全学年の身体測定は終え、視力・聴力などの検査を進めております。今後は学校医による種々の検診も始まります。お子様の成長を確かめ、疾病異常の早期発見のために実施しております。正しく受けられますよう、準備等でのご協力をよろしくお願いいたします。また、健診結果で受診が必要という案内をお渡しした折には、できるだけ早く受診していただきますようよろしくお願いいたします。

内科検診について(ご理解とご協力のお願い)

内科検診は、学校保健安全法で全学年に実施することと定められております。内科検診では、心臓、肺、皮ふ、脊柱および運動器、結核に関する検診など多岐にわたります。

これらの内容を行うためには、保健調査票等での問診と学校医が聴診、視診などの診察ができるよう準備をする必要があります。子どもたちのプライバシーに配慮しながら、円滑に検診をすすめていくために、持ち物についてご協力ください。

【内科検診の日に用意していただきたいもの】

体操服(全学年)(上は必ず半袖のものをお願いします。)

バスタオル(3年生以上)・・・プールなどで使用するマントタイプのもものがのぞましいです。

→マントタイプのものがない場合は、普通のバスタオルでも結構です。

不必要な体の露出を防ぐために使います。

※コロナ禍でタオルの使いまわしを避けるため、各自で用意をしてください。

【ご理解いただきたいこと】

1. 心音を正しく聴取するためには、正しい部位に聴診器を当てる必要があります、そのため、胸部が確認できるようにします。ただし、マントタイプのバスタオルを使用して、学校医の診察を妨げない程度に体を隠すなどしてプライバシーへの配慮をします。
2. 脊柱側弯症を早期に発見するために、頸部から腰部までの脊柱にゆがみがないかを確認する必要があります。肩甲骨の位置なども確認する必要があるため、背中が見えるようにします。その際、プールで使用するマント型のバスタオルを使用して、背中での診察を受けやすいようにします。

学校での内科検診は、かぜなどの症状での受診とは、目的が違います。心臓や肺、皮膚の他、栄養状態や脊柱、運動器など幅広く診て、異常の早期発見を目的としています。そのため、各部位を視診したり、聴診したりします。集団検診はスクリーニングを目的として行います。詳しい検査や診察が必要かもしれないものを抽出することも大切な目的です。

どうか検診の意義をご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。